



### 石城販利組合に於て

#### 乾藪で相當の損失か

##### 現在尙ほ數千貫の在庫

石城販利組合が四倉町市... 乾藪の被害は昨年秋の秋澄期から急激したる余價の爲め去る一月現在の在庫高四千二百二十石あることは當時所報の如く組合では之れが處分に相當の備蓄をもつてゐたが以後引續く余價の不振に出庫を妨げられてゐるので或は損失物でないかと氣遣はれてゐる。乾藪處分は云ふ迄もなく今三月を越えては俗に云ふ蠶に穿のふく時期を迎ひ解符が落ち糸量を減じ殊に黄藪の如きは色素の褪下に添ふて其の弊害著しきものがある。今や全く駆引の時期でなく處分切端に差迫つてゐるが同倉庫の入庫貸付と金利及び倉敷料を概算すれば

### 小川江九年度工事

#### 六萬三千圓の見込

##### 縣會の二萬七千圓が通れば

石城郡小川江筋改修の八年度工事事業は去る二十四日まで五萬二千三百圓の豫定工事を完成し九年度に於ては右匡事業費計畫豫算八萬八千四百圓から八年の完了工事を除く三萬六千三百七十圓の外に目下縣會に附議されてゐる二

### 是はごうした譯か

#### 賣店申込者僅に二名

##### 豫定數に満たれば締切延期

平町に於て希望者を募つてゐる松ヶ岡公園臨時賣店十三ヶ所の申込みは今二十七日の締切を控へて正午までに僅か二名の希望者に止まり昨年の如き不況時に於ては六十九名に競争を演じられたものがいと云はれてゐた

### 常識講座

アカデミーとは美術上で云へば傳統正しい意匠に使はれてゐるが此の語言はアカデミクと名付た一英雄の名を取つた希臘アゼノスの一學林の名だ換稱して學者、學士院等指す

### 平町教育會の總會

##### 集會

平町教育會では明二十八日午前十時から同町第一小學校に於て總會を開催の筈であるが午後一時から鈴木秀應氏の講演がある

### 近づく石城

#### 忠魂祭

平公園に建つ石城忠魂祭の例祭は來四月十日であるが合祀される忠魂は去る日支事變の戦死者を加へて本年は左記の如く三百七柱であると

### 平署管下消防幹部大會

平署管下二十二ヶ町村の消防幹部大會は來四月八日午前十時から平町第三小學校講堂に於て開催春季聯合檢閲及び優良組員の表彰その他に關する協議をなす

### 平の優良納税表彰

平町では來四月中旬頃に於て舉行する優良納税者表彰式の該當者を調査中であるが昭和九年度からは從來の如く單り町税納入關係のみでなく水道

料金の納入成績優良その他自したい方針であると治功勞者をも當日に於て表彰

### 東郷元帥の立像

#### 石城から約五百圓

##### 海軍宣傳部長三等兵曹の化の皮

今春石城地方に於ける學校及び官公衛その他有志者を廻り東郷元帥の立像を頒付のため出張したと三等兵曹の軍服を着け海軍宣傳部長勲章重弘の名刺を以て相手を借せしめ申込者から手付金として最高十圓から最低一圓を騙り歩いた男を平署では早くも不審と睨み縣刑罰課に指名手配中でうらと云はれてゐる

### 駐在所へ忍んだ賊

#### 捕へて見れば精神病者

##### 春はがらかなナンセンス

石城郡赤井村の高秋巡査駐在所の不在（ついでに三日前）の青年が忍び入り家探しをしたる後布施巡査のマントを着込んで大膽にも座敷の真中に高聲でねてゐた午前十時頃附近の所用を遂して戻つた巡査夫人は布施氏に做ふ職權柄少しも疑がず近所の助勢を呼び引捕へて高手古手に戒め急

### 平小學校優等生

第二小學校の分

- 渡邊ひさ子 太田三三子
- 正木田鶴子 松崎まち 木村いみ 酒井正子 吉田輝代 吉成照子
- 三年一組 千葉裕子 大和田きよ 渡邊なな 黒木智子 三井敬子 藤見米子 石和悦子
- 二年二組 山崎山子 藤田悦子
- 二年一組 秋山貞子 柴田離若子 矢田部富子 鈴木蘭子 梅森道子 早川和枝 高崎喜代子 三組大嶺悦子 桑原子 野口ち江子 木田秀子

### 函館火災に磐炭青年團の同情

石城郡内郷村の磐炭炭燬青年團では去る二十五日午後同燬野會館に幹部會を開き函館市の大火に對する義捐金募集の件を協議の結果同燬四千人の從業員に於て一人五錢以上の同情を受け送付することになつたが該金は約三百圓位なる見込みであると

### 鐵工同業が函館大火へ三十圓

##### 平町の磐城鐵工機械同業組合

平町の磐城鐵工機械同業組合では組合長河田梅吉氏外幹部連の發起で函館大火災に於ける同業罹災者への義捐金を募つてゐたが今二十七日左記寄附者の名簿を添えて金三十圓の回送方を町役場に託した

### 自轉車泥餘罪を

##### 自白する

信夫郡金谷川村生れ當時住所不定無職齋藤佐市公が去る二十二日午後十一時頃平町字紺屋町一八番物商井上菊松方雇人小島與之吉（七）が内郷村金坂に居住する實父の許に自轉車で行き附近料理店軒下に置いた自轉車を窃取し平署に檢舉されたことは既報したが同署の取調べにより尙ほ本日十八日石城郡内郷村の稱符下雜貨店猪狩精重方外二戸を荒した餘罪を自白した

### 二億萬圓消火器

##### 寄付

平町南町の二億萬圓消火器一手販賣店大嶺秀吉氏は同町第二小學校の備品として同器一個三十圓を今二十七日平町長宛に寄附を申出た

### 平の匡救工事竣

##### 工機査

平町に於ける昭和八年度の匡救工事は字四軒町から平窪村の内に至る道路改修費工費三千九百五十六圓十六錢及び町内縣社裏の街路改修四千四百六十圓六十三錢に濱地買収その他を合せて九千八百圓あるが右に對する竣工検査は小林平土木監督所長により行はれて無事通過した

